

ScreenBeam 1100 Plus ワイヤレスディスプレイ受信機ク イックスタートガイド

この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ScreenBeam 1100 Plus

は、Windows 10 / 8.1

、macOS、iOS、ChromeOS、およびAndroid

デバイスに組み込まれているネイティブスクリーンミ

ラーリング機能をサポートし、より生産的な会議を可能にする強力なデバイスです。

マルチネットワーク機能は、セキュリティを維持し、ユーザーに優れたエクスペリエンスを提供しながら、各ユーザー要件を満たすように柔軟に設計されました。

このクイックスタートガイドでは、本製品を正しく使用いただくために設置と接続手順を説明します。



事前準備

本製品を設置する前に、ファームウェアの最新バージョン、最新の技術情報など弊社ウェブサイトにて確認することをお勧めします。

- ファームウェアアップグレードとリリースノートを下記のURL(英語)で確認できます：

<https://support.screenbeam.com/1100plus>

- Miracastとネイティブ macOS/iOS のワイヤレスディスプレイ接続手順について下記のURL(英語)で確認できます：

<https://www.screenbeam.com/setup>

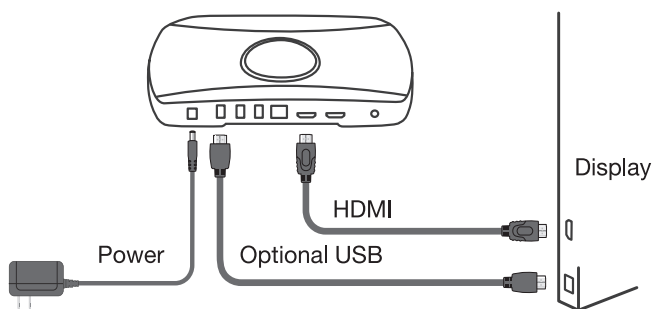
クイックスタートガイド

- 弊社ScreenBeam製品を一括リモート管理ソフトウェア、セントラルマネージメントシステム(CMS)について下記のURL(英語)で確認できます：
<https://support.screenbeam.com/cms>
- 弊社ScreenBeam製品のオープンソース情報について下記のURL(英語)で確認できます：
<https://opensource.screenbeam.com>

パッケージ内容

- ScreenBeam 1100 Plus ワイヤレスディスプレイ受信機本体 1
- クイックスタートガイド(本紙) 1
- 電源アダプター 1
- マグネットマウントキット 1
- HDMIケーブル 1

本製品のセットアップ



1. ディスプレイの近くにScreenBeam 1100 Plusを配置します。
2. HDMIケーブルを受信機とディスプレイ両方にしっかり接続します。
3. 電源アダプターを接続します。
4. ディスプレイの電源をオンにして、ScreenBeam 1100 Plus対応する入力に切り替えます。
5. ディスプレイに「機器の接続を待っています」という待機画面が表示されるのを待ちます。
6. ディスプレイにタッチ機能がある場合は、ScreenBeam 1100 PlusのUSBコネクタとディスプレイのHID USBコネクタにUSBケーブルで接続します (USBケーブルは別途用意が必要)。

クイックスタートガイド

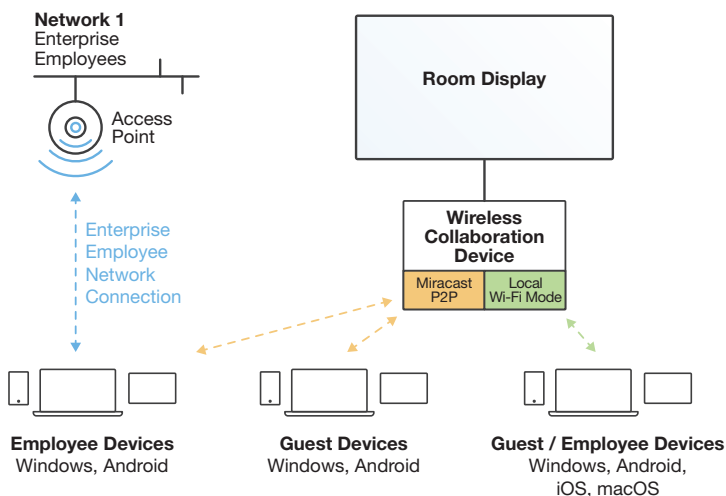
7. ScreenBeam 1100 Plusを構内ネットワーク(図には表示されていません)に接続する場合は、イーサネットケーブルの一方の端を本製品のイーサネットポートに接続し、もう一方の端をDHCP IPでネットワークスイッチに接続します。(イーサネットケーブルは別途用意が必要)。

注: ScreenBeam 1100 Plusは、有線接続と無線接続の両方を同時に使用して、複数のインフラストラクチャネットワークに接続できません。

8. HDMIスルー機能を利用したい場合、HDMIケーブルを本製品のHDMI入力に接続してください(HDMIケーブルは別途用意が必要)。

接続タイプ

ScreenBeam 1100 Plus は、クライアントデバイスにMiracast P2P、インフラストラクチャ、ローカルWi-Fi、3種類の接続タイプを提供します。2つ以上のタイプが同時に動作し、さまざまな接続オプションに対応して、内部の従業員と外部のゲストの両方が簡単に接続して投影できます。

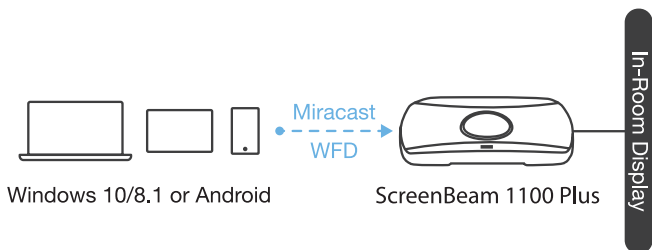


クイックスタートガイド

タイプ別の接続手順案内

Wi-Fi Miracast

MiracastとはWi-Fi Allianceによって策定された、1対1の無線通信によるディスプレイ伝送技術です。Windows 10 / 8.1、およびAndroid 4.4 (以降)搭載デバイスはMiracastを標準サポートするようになっています。本製品はMiracast対応のデバイスと接続し、画面ミラーリングができます。また、これらのデバイスは構内Wi-Fiネットワークに接続している場合でもMiracastと接続できます、これでワイヤレスディスプレイとインターネットアクセスを同時に楽しむことができます。



Miracast利用のワイヤレスディスプレイ接続

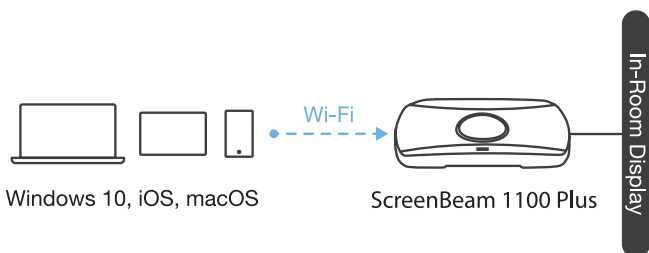
1. 各OSのMiracast接続標準UIを開きます
 - Windows10デバイスの場合
WindowsキーとKを同時に押します。
 - アンドロイドの場合
メーカーによってMiracast接続UIを独自の名前を付与する傾向があります、例えばシェアキャスト、スクリーンキャスト、スマートシェアなど。
2. ディスプレイに表示されているScreenBeam 1100 Plus受信機名を選択します
3. PINコードが要求された場合、ディスプレイに表示されたPINコードを入力します。PINコードが表示されない場合は、デフォルトのPINコード 1234を試してください
4. 投影モードの選択が要求されたら、複製または拡張モードを選択します
5. ディスプレイにタッチ機能がある場合、Windows 10デバイスは、[…タッチを許可する]チェックボックスにチェックして、タッチおよびペン機能を利用できます。

注：一部のAndroidデバイスはPIN方式をサポートしていないため、接続に失敗します。ScreenBeam 1100 Plusの設定を変更し、PIN方式を無効にする方法はユーザマニュアルに参照してください。

クイックスタートガイド

ローカルWi-Fi

ScreenBeam 1100 Plus ローカルWi-Fiは、ScreenBeam 1100 Plus デバイスをローカルWi-Fiホットスポットまたはネットワークとして利用し、クライアントデバイスが接続および投影するための簡単な方法を提供します。この接続タイプでは、ユーザーはクライアントデバイスをScreenBeam 1100 Plus ローカルWi-Fiに接続する必要があります。



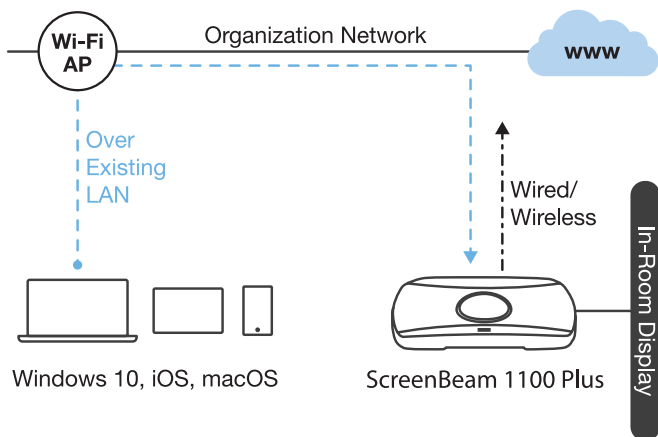
ローカルWi-Fiを利用のワイヤレスディスプレイ接続

1. ディスプレイに表示されている情報(AP SSID)をもとに、クライアントデバイスをローカルWi-Fiに接続します。
2. ローカルWi-Fiのセキュリティキーを入力します。デフォルトは“screenbeam”です。
3. ディスプレイに表示されているScreenBeam 1100 Plus受信機名を選択します
 - Windows 10の場合
WindowsキーとKを同時に押します。

- iOSまたはmacOSの場合
メニューバーまたはコントロールセンターの をクリックして接続します。
- 4. PINコードが要求された場合、ディスプレイに表示されたPINコードを入力します。PINコードが表示されない場合は、デフォルトのPINコード 1234を試してください。
- 5. 投影モードの選択が要求されたら、複製または拡張モードを選択します。
- 6. ディスプレイにタッチ機能がある場合、Windows 10デバイスは、[…タッチを許可する]チェックボックスにチェックして、タッチおよびペン機能を利用できます。

既存ネットワーク

本製品は、既存のワイヤレスまたは有線ネットワークに接続でき、いずれかのネットワーク上のクライアントデバイスのワイヤレスディスプレイをサポートします。この接続タイプでは、本製品は組織のネットワーク（有線または無線）に直接接続しており、クライアントデバイスはネイティブアプリケーション（Windows接続、Airplay、Google Castなど）を使用して本製品を検索と接続できます。



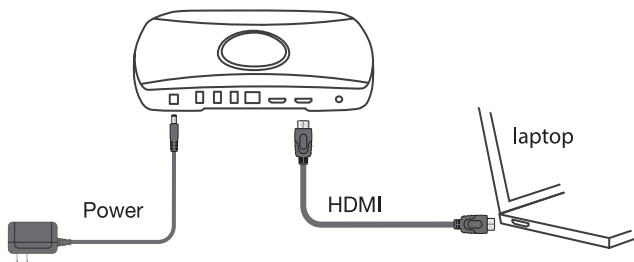
クイックスタートガイド

既存ネットワーク利用のワイヤレスディスプレイ接続

1. 本製品を、クライアントデバイスが接続できる既存有線/無線ネットワークに接続します。
2. 待機画面の表示情報で本製品がIPアドレスを取得したことを確認します。
3. クライアントデバイスを本製品と同じネットワークに接続します。
4. ディスプレイに表示されているScreenBeam 1100 Plus受信機名を選択します
 - Windows 10の場合
WindowsキーとKを同時に押します。
 - iOSまたはmacOSの場合
メニューバーまたはコントロールセンターの をクリックして接続します。
5. PINコードが要求された場合、ディスプレイに表示されたPINコードを入力します。PINコードが表示されない場合は、デフォルトのPINコード 1234を試してください。
6. 投影モードの選択が要求されたら、複製または拡張モードを選択します。
7. ディスプレイにタッチ機能がある場合、Windows 10デバイスは、[…タッチを許可する]チェックボックスにチェックして、タッチおよびペン機能を利用できます。

HDMIケーブルを利用する

ほとんどのユーザーはOSのネイティブ機能を使用してワイヤレスでScreenBeam 1100 Plusに接続できますが、HDMIケーブルで直接有線接続を利用して投影することもできます。



HDMIケーブルで接続するには、HDMIケーブルをユーザーデバイスのHDMI出力ポートに接続するだけです。ScreenBeam 1100 Plusは自動的にユーザーデバイスの画面を表示します。ワイヤレスセッションが既にアクティブになっている場合の有線接続の動作の詳細については、下記のURLを参照してください：

<https://support.screenbeam.com/1100plus>

クイックスタートガイド

デバイスの管理

購入したScreenBeam 1100 Plus製品の構成と管理は、ScreenBeam 1100 Plus製品を最大限に活用するための重要な部分です。特定のニーズに合わせてScreenBeam 1100 Plus製品を構成および最適化できるセキュリティ設定、ネットワーク設定などがいくつかあります。そのために、ScreenBeam 1100 Plus製品をセットアップ、構成、および管理する2つの方法を提供しました。ローカル管理インターフェース(LMI)を介してデバイスにアクセスするか、セントラルマネジメントシステム(CMS)を介してリモートでデバイスをセットアップおよび管理できます。

LMIを利用

LMIにアクセスするには3つの方法があります：

方法1: ScreenBeam 1100 PlusローカルWi-Fiを利用

1. ディスプレイに表示されている情報(SSID)をもとに、クライアントデバイスをローカルWi-Fiに接続します。
2. ローカルWi-Fiのセキュリティキーを入力します。デフォルトはscreenbeamです。
3. ScreenBeam 1100 Plus受信機の[機器の接続...]画面には、ローカルWi-FiのIPアドレスが表示されます。
4. ローカルWi-FiのIPアドレスをPCまたはAppleデバイスのWebブラウザのアドレスバーに入力します。
 - ScreenBeam 1100 Plus受信機が既存ネットワークに接続されていない場合、IPアドレスが「機器の接続…」画面に表示されず、この場合は固定で192.168.26.1です。
 - ScreenBeam 1100 Plus受信機が既存ネットワークに接続されている場合、IPアドレスは「機器の接続…」画面で表示されます。

5. ブラウザーは「このサイトへ接続は安全ではありません」というエラーを表示する場合があります。次のような手順でアクセスできます。
 - Chromeブラウザ: [詳細設定]をクリックし、[実行]をクリックします。
 - Edge / IEブラウザ: [詳細]をクリックし、Webページに移動します。
 - Firefoxブラウザ: [詳細設定]、[例外の追加]の順にクリックし、[セキュリティ例外の確認]をクリックします。
6. LMIのログイン画面が表示されたら、ユーザー名「Administrator」とパスワード「screenbeam」(大文字と小文字を区別)を入力します。

方法2:DHCP対応の既存有線ネットワークを利用

1. Cat 5e以上のイーサネットケーブル(RJ45)を使用して、ScreenBeam 1100 PlusイーサネットポートをDHCP対応ネットワークに接続します。
2. ScreenBeam 1100 Plus受信機の[機器の接続...]画面に、ScreenBeam 1100 Plusに割り当てられたIPアドレスが表示されます。ScreenBeam 1100 Plusと同じネットワーク上のPCまたはAppleデバイスのWebブラウザのアドレスバーにこのアドレスを入力します。
 - 以降の手順は、方法1の5,6と同じです。

クイックスタートガイド

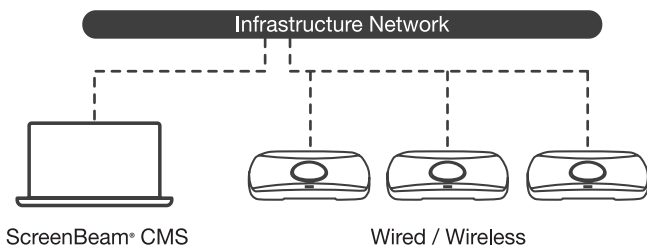
方法3: Miracast P2P接続を利用

1. Windows 10 / 8.1デバイスを使用して、前述の[Miracast...接続]に従ってScreenBeam 1100 Plusにデバイスを接続します。
2. Miracast接続が確立されたら、Webブラウザのアドレスバーに <https://192.168.16.1>を入力し、LMIにアクセスします。
 - 以降の手順は、方法1の5,6と同じです。

CMSを使用

最高クラスのワイヤレスディスプレイとコラボレーションエクスペリエンスに加えて、ScreenBeam 1100 PlusデバイスにはCMSを標準サポートしています。これにより、配置したすべてのScreenBeam 1100 Plusデバイスをリモート一括管理できます。

CMSソフトウェアとCMSユーザーガイドを入手するには、次のURLへ：
<https://support.screenbeam.com/cms>



注: ScreenBeam 1100 PlusがScreenBeam CMSに接続されている場合、LMIへのアクセスはデフォルト設定で禁止されています。また、このデフォルト設定は変更できます。

サポート情報

FAQ、トラブルシューティング情報とサポートについては、下記のURL(英語)をご覧ください。 <https://support.screenbeam.com>

メールでの問い合わせ(日本語): japan-sales@screenbeam.com

ウェブサイト: www.screenbeam.com

注:この製品は、「Class2」とマークされた電源ユニット、「L.P.S」とマークされた電源アダプタまたはDC電源(定格12Vdc、最低3A)を利用します。

US SKU: Model # CDS036-W120U by Actiontec.

International SKU: Model # ATS036T-W120V
by ADAPTER TECH.

クイックスタートガイド

ScreenBeam®

PN: 0530-0850-500

© 2020 無断転載禁止ScreenBeamおよびScreenBeamのロゴは、ScreenBeam Inc.の登録商標です。その他のすべての名称は、各所有者の所有物です。仕様は予告なしに変更される場合があります。032720-v1